

## 普及活動情勢報告（令和2年2月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### JAとさし波介シシトウ部会現地検討会を開催 ～チビトビカスミカメ類防除対策と今後の栽培管理について～



自分のハウスとの生育・管理の違いを情報交換する参加者

2月3日、JAとさし波介シシトウ部会の現地検討会が生産者11人の参加のもと開催されました。

参加者は、全員のハウスを巡回することで、自分のハウスとの摘心位置や摘葉等栽培管理の違いを実感し、作業性や生育について熱心に情報交換していました。農業改良普及課からは、チビトビカスミカメ類の防除対策と日射量に合わせたかん水管理について情報提供しました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携してシシトウの安定生産と部会活動の活性化に向けて支援を行っていきます。

### 酒米「吟の夢」の栽培反省会を開催 ～より良い酒米づくりを目指して～



1年を振り返って、今後の抱負を語る生産者

1月29日、「土佐市吟の夢栽培技術研究会」は栽培反省会を開催し、生産者6人と酒造会社1人および関係機関2人の合計9人が参加しました。

農業改良普及課からは、生産者ごとの収量・品質と栽培履歴を照らし合わせながら、施肥管理等の重要性について説明し、生産者に基本栽培技術を徹底するよう指導しました。また、新たに20代の生産者1人が研究会にメンバー入りしたことで、次年度は「吟の夢」の栽培面積が12.8haまで拡大する予定です。

農業改良普及課では、土佐市が県下一の酒米産地に発展することを目指し、酒造会社等と連携しながら、栽培経験の浅い生産者の収量アップや新規参入者の探索について支援していきます。

### 露地ニラ出荷反省会（いの地区）を開催 ～今作も頑張りました！～



意見交換する参加者

2月3日、JAコスモスニラ生産部の反省会が生産者10人の参加のもと、JA吾北支所で開催されました。

農業改良普及課からは、栽培期間中の気象条件等を説明しました。今作は台風等の影響で、前年に比べ秀品率は低かったものの、7月から12月までの出荷数量は前年を上回りました。生産者からは、JAから説明された「そぐり・計量結束センター」の出荷基準等も踏まえ、次作の取組について意見が出されていました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、定植前の土壌検査を始め、露地ニラ安定生産に向けて支援を行っていきます。

### 加工用ワサビのほ場巡回（吾北地区）を実施 ～安定生産を目指して～



ワサビの生育状況をチェック

1月29日、JAコスモス吾北支所と連携して、定植後の加工用ワサビの7ほ場の巡回指導を実施しました。

今年度の加工用ワサビでは、気温が高めに推移しており、日中に葉が垂れ下がる状態も見受けられます。そのため、灌水施肥や日中の換気は、生育状況や天候に留意しながら実施するように指導しました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、巡回活動等により、ワサビの安定生産に向けての支援を行っていきます。